

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
遊佐町	6 4 6 1 1	1	平成20年度～ 平成23年度	平成20年度～ 平成22年度
活性化計画の区域				
遊佐町全町域から都市計画区域を除外した区域				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備 考
特別栽培米及び飼料用米、大豆、パプリカの販売量の増加	増加率 39.73%	増加率 18.74%	47.17%	

(コメント)

平成22年度・23年度と2年続いた春先の天候不順、異常高温、断続的な降雨及び大雨等の異常気象により販売量の増加率は目標に達しなかった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
乾燥調製貯蔵施設	カントリーエレベーター (1基 5,454 t)		庄内みどり農業 協同組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
遊佐中央カントリー利用組合	平成20年度	平成22年度	平成22年9月1日
事業の効果			
乾燥調製貯蔵施設の整備により、安全安心を基本とする特別栽培米における品位の向上、また飼料用米取組み増による自給率アップが図られた。大豆の乾燥調製においては、高品位生産が可能となり実需者からの評価が得られた。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
高生産性農業用 機械施設	マニアスプレッダ 9台 (散布面積 270 h a)		遊佐町共同開発 米部会
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
遊佐町共同開発 米部会	平成20年度	平成20年度	平成21年11月8日
事業の効果			
農業用機械の導入により、堆肥の散布面積が増加したことで特別栽培米拡大に効果があったほか、管内圃場への計画散布が可能になっただけでなく、労力削減にも効果が得られた。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
育苗施設	パプリカ育苗施設 (1棟 324㎡)			J A 庄内みどり 遊佐畑作部会果 菜類専門部
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
J A 庄内みどり 遊佐畑作部会果 菜類専門部	平成20年度	平成20年度	平成23年4月2日	
事業の効果				
管内での育苗が可能となり、購入苗に比較し生育揃いが良好になり、初期生育に効果があった。				

3 総合評価

(コメント)

本交付金を活用した生産基盤の整備により、特に品位に影響を及ぼす天候不順時には安定品位が確保できる効果は大きかったほか、消費者からの評価も高まった。特別栽培米を中心とした水稻栽培に加え、飼料用米及び大豆生産、パプリカを組み合わせた生産体系の確立に効果が得られたほか、農産物生産を媒体とした都市農村交流により活性化につながった。

一方、生産面積は増加したものの、異常気象により販売量の増加率は目標値に達せず、改善計画に基づいて引き続き増産に努める。

4 第三者の意見

(コメント)

山形大学農学部 教授 小沢 互(おざわ わたる)

近年の取り組みである飼料用米、パプリカについては高く評価できる。特別栽培米、大豆については天候の影響でふるわないものの、関係者の努力は高く評価できる。飼料用米、パプリカは日本を代表する産地になっており、特別栽培米、大豆も含めて先進地としての地位を揺るぎないものにする更なる努力が求められる。

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。